

**■授業の目的**

本授業は、社会における様々な現象について、社会学の基本的な考え方や概念、社会学における研究方法を学び、その特徴を理解することを目的とする。また、現代社会で生じている様々な問題についての理解を深める。

**■授業の到達目標**

本授業では、自身で問いを立て考察できるようになることで、社会学の視点やその方法を身につけることを到達目標とする。また、現代社会で生じている様々な問題についての理解を深めるための基礎的知識を獲得する。

**■授業計画**

- 1 自分と他人の関係  
「アイデンティティ」「他者」「まなざし」の理解を通して自分と他人の関係について考える
- 2 家族という社会  
「親密性」「第一次集団／第二次集団」「ライフコース」の理解を通して家族という社会について考える
- 3 福祉・教育と社会  
「福祉国家」「大きな政府」「社会規範」の理解を通して福祉や教育はどうやって決まるのかについて考える
- 4 地域社会  
「コミュニティ」「アクションリサーチ」「アーバニズム」の理解を通して地域社会について考える
- 5 働くことと社会  
「官僚制」「組織」の理解を通して働くことと社会の関係について考える
- 6 文化と社会  
「風俗」「考現学」「消費社会」の理解を通して文化と社会について考える
- 7 メディアと社会  
「情報化」「社会的性格」の理解を通してメディアと社会の関係について考える
- 8 性と社会  
「ジェンダー」「性別役割分業」「セクシュアリティ」の理解を通して性と社会について考える
- 9 エスニシティと社会  
「グローバリゼーション」「エスニシティ」「民族関係」の理解を通してエスニシティと社会の関係について考える
- 10 格差と社会  
「不平等」「学歴社会」「階級・階層」の理解を通して格差と社会について考える
- 11 社会問題  
「社会問題」「ラベリング」「社会的コントロール」の理解を通して社会問題はいかにして起こるのかについて考える
- 12 社会運動  
「NPO／NGO」「ネットワーク」「新しい社会運動」の理解を通して社会運動とは何かについて考える
- 13 自然環境と社会  
「科学技術」「リスク」の理解を通して自然環境といかに向きあうかについて考える
- 14 政治と社会  
「選挙」「民主主義」「政治的社会化」の理解を通して政治と社会について考える
- 15 まとめと試験  
講義全体を総括し、試験のフィードバックとしての解説をする

**■授業の方法**

スライドを用いた講義形式。映像資料なども用い、履修者の理解や関心を深める。なお、教科書の章立てに沿って授業を進めるが、現在の様々な事例を補足する。また、適宜レジュメを配布する。

**■予習・復習**

予習：授業計画ごとのテーマについて、教科書・参考書等を読んで意見や疑問点などをまとめる。

復習：授業内容・配付資料を基に要点を整理し、まとめを行い理解を深める。

**■成績評価の方法**

成績評価は、学期末試験（70%）、平常点（リアクションペーパーや中間課題、授業内容に対する積極的な質問や発表などによる授業参加度：30%）により総合的に評価する。

**■教科書・参考書**

教科書：工藤保則・大山小夜・笠井賢紀（編）『基礎ゼミ社会学』世界思想社、2017年。

**■関連する科目**

教職課程科目および政治学入門等の入門科目